

雲の上のまち



た報

# けすばら



## ウェルカムコンサート・学習発表会

第4回 栲原町芸術祭開催 <P3>

遠隔診療・医療用人工知能の実証研究プロジェクトに関する包括連携協定 <P4>

栲原町防災訓練・熊本地震被災地研修 <P5>

平成29年度 高知県「いい歯」の表彰おめでとう <P6>

「日本道路の森」間伐体験交流会開催 <P7>

etc...

**12** 月号  
2017  
<平成29年>  
No.714

●世帯数/1,818 (10月末)  
1,819 (11月末)  
●人口/3,622 (10月末)  
3,616 (11月末)  
○出生… 0 ○死亡… 3  
○転入… 4 ○転出等… 7

瑞宝双光章

(危険業務従事者叙勲)受章

河野 廣志氏



警察や消防などの従事者を対象とした危険業務従事者叙勲が11月3日に発表され、元海上保安官の河野廣志氏(広野)が瑞宝双光章を受章されました。

河野氏は梶原高校卒業後、海上保安学校に入学し、同校卒業後は高知海上保安部巡視船あわじ機械員に配属され、以来平成25年3月に退職するまでの42年の永きにわたり、海上保安官として巡視船艇及び海上保安部署

等の現場第一線において勤務するほか、第五管区海上保安本部管内の大阪海上保安監部岸和田海上保安署長、田辺海上保安部申本海上保安署長、神戸海上保安部西宮海上保安署長を歴任し、遭難船舶の救助、治安の維持、海上における犯罪の監視取り締り、船舶交通、各港湾の安全確保等の海上保安業務に従事されました。この間県内においては、平成9年に足摺岬沖や土佐清水市以布利漁港での中国人集団密航事件等に携わりました。この度の瑞宝双光章の受章まことにめでとうございます。

平成二十九年 度

高知県功労者表彰(地方自治関係)受賞

西川 慶男 議員



本町の西川慶男議員が高知県功労者表彰地方自治関係部門で受賞をされました。

西川議員は、昭和62年の初当選以来、長年にわたり梶原町議会議員として活躍されています。この間には副議長として、議長を補佐し議会の円滑な運営に携われたほか、梶原町議会基本条例の制定にあたっては、長年の経験を生かし、議会と行政の在り方などに関する調査や提言を積極的に行い、地方議会の活性化に貢献されました。また、

国民健康保険運営協議会委員として、地域の人口減や医療の高度化が進む中、保険料を上げることなく健全な運営に取り組んだほか、総務教育厚生常任委員会委員長として、新たな義務教育への挑戦となる小中一貫教育校の設立に向けて、地域住民の理解を得るための活動に尽力されました。さらに梶原町土地開発公社理事として、地域住民への聴き取りや執行部への提言を積極的に行い、国道四四〇号線町中工区改良の実現に寄与されました。このように多年議会議員として、地域の産業振興、公共の福祉の増進等地方自治の発展に寄与した功績が認められたものです。心よりお喜び申し上げます。



# 第4回 栲原町芸術祭開催

11月25日(土)に、第4回栲原町芸術祭を開催しました。

町民ステージと体験教室については、栲原高等学校の協力のもと、高校文化祭「燕神祭」との合同での開催となりました。

町民ステージでは、芸術祭としては初めての野外ステージです。ゆすはら座で行うステージとは雰囲気違っていましたが、皆さん日ごろの練習の成果を発表しました。



町民ステージトップバッターの栲原学園和太鼓クラブ「ししまる太鼓」

体験教室として、毎年好評を博しております海洋堂による「ジオラマ教室」に加え、今年も須崎市のイラストレーターかわぞえうどうさんによる「紙のおもちゃ教

室」、ジャズドラマー吉川エイジさんによる「はじめてのジャズ教室」を行いました。

参加いただいた方それぞれに自分の「ジオラマ」や、紙のおもちゃを作成したり、普段触れることのない楽器を演奏したりと皆さん熱心に取り組まれておりました。



紙のおもちゃ教室 真剣に取り組んでいます。

夜には場所を変え、栲原町地域活力センター「ゆすはら・夢・未来館」大ホールで、吉川エイジスペシャルバンドによるジャズライブを、その後、ゆすはら未来大使尾崎正敏氏をお迎えし「秋の夜長



スペシャルバンドによるライブ 圧巻の演奏でした

の野球談議」と題しまして栲原高等学校野球部監督横川恒雄氏と共に野球部についてお話をいただきました。お忙しい中114名の方がご来場くださり、熱心に話に耳を傾けられていました。

話の中で、これまで横川監督の軌跡やこれからの栲原高等学校野球部についての展開をいただきましたがなんとといっても、今年も第99回全国高校野球選手権高知大会で準優勝に輝いた野球部ですが「決勝まで行けたのはレギュラーメンバーの頑張りだけでなく、ベ



「秋の夜長の野球談議」 頑張り野球部！

ンチのメンバー、そしてベンチ以外のメンバーが頑張る体制や環境を作ってくれたこと、また地域の方が応援してくれたことが準優勝に繋がった」とお話をいただきました。これからも応援いただきますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

最後になりましたが、初めての栲原高等学校と合同開催となりましたが、ご協力いただきました皆様のおかげで開催できましたこと、心よりお礼申し上げます。

栲原町芸術祭実行委員会

# 遠隔診療・医療用人工知能(AI)の実証研究プロジェクトに関する包括連携協定(栲原病院)

11月21日(火) 役場庁舎1階アトリウムにて、遠隔診療・医療用人工知能(AI)の実証研究プロジェクトを始めるにあたり包括連携協定式が行われました。

当日は、遠隔診療・医療用人工知能の開発を進めている高知市のベンチャー企業「株式会社エクスメディオ」と資金面やコンサルティングを通じてプロジェクトを支援している「株式会社みずほ銀行」の代表者、栲原病院開設者の栲原町長の三者のほか関係者が出席し協定を結びました。

当プロジェクトは、栲原病院において、医師が皮膚疾患の患者を診察する際に、患部の画像や問診情報を専門医に送って助言を受けるネット上での医師同士の情報交換するサイト「ヒポクラ」を活用し、画像や問診データを蓄積していくことで、画像データから病名を診断する人工知能の開発を加速させていくものです。

「ヒポクラ」は株式会社エクスメディオが運営しており、全国で約1万人の医師が利用し、登録した医師が患部の画像や問診した内容を送ると約

30分で複数の専門医から助言が得られるものです。栲原病院でも来年4月を目前に、このシステムの運用を開始し、診断画像データ等を蓄積していき、医療用人工知能(AI)の開発に関わっていきます。

このプロジェクトを進めることにより、本町のような高齢化・過疎化が進む中山間地域においても総合診療医による専門的な診療が可能となり、患者の専門医療機関への通院負担の軽減や、病気の重症化を予防するなど、予防型社会への移行や継続的な医療サービスの確保に繋がるように取り組んでいきます。



### 【取組の内容】

- ・栲原病院を舞台に、「遠隔診療・医療用人工知能(AI)による診断支援」の安全性、有効性に関する効果検証を行う

### 【ポイント】

- ・栲原町は、高齢化・過疎化が予想される地域における、へき地医療のモデルケースを目指す
- ・株式会社エクスメディオが開発した、臨床課題を解決する医療者間互助プラットフォーム「ヒポクラ」を活用
- ・株式会社みずほ銀行は、グループのリソースを活用したコンサルティングの提供、取引病院の紹介等による実証研究の発展支援、実証研究に関する資金提供等を通じ、本件取り組みの支援を行う

### 【栲原町民のメリット】

- ・将来にわたる医療サービスを確保し、高齢者に住みやすい町づくりが実現する
- ・高齢者の受診躊躇による病状悪化を防ぐとともに、医師負担が軽減される

### 【取組イメージ(皮膚・目)】





# 梶原町防災訓練 東区や越知面区で自主防災訓練実施

県内一斉避難訓練にあわせ、今後高い確率で発生すると予想されている南海トラフ地震の発生に備え、梶原町防災訓練を11月5日（日）に実施しました。

当日は、午前7時30分に土佐湾沖を震源とした震度5強の地震が発生したことを想定し、「震度5強の地震発生」の緊急放送・サイレンで訓練を開始しました。

各自主防災組織による避難訓練や安否確認・情報伝達訓練など地域で訓練を実施しました。



初めに避難所となる場所の安全確認開始（東区）

東区では、梶原町地域活力センター「ゆすはら・夢・未来館」で、高知大学大槻准教授による「避難所開設・運営訓練について」講義を受けた後、行政や自主防災組織が連携して、避難所開設・運営訓練、炊出し訓練に取り組みました。

「初めて避難所開設・運営訓練に参加し、指揮命令系統の重要性を感じた。今後も続けてもらいたい。」といった意見が多く出ていました。



災害ボランティアセンター運営模擬訓練の様子（越知面区）

越知面区においても、災害ボランティアセンター運営模擬訓練・炊出し訓練が実施されました。

役場では、午前7時37分に最初に到着した職員の時刻をもって災害対策本部を設置し、浄水器を用いた給水訓練、心肺蘇生訓練を実施しました。

町では、大規模災害時の迅速な救助・復興活動につなげるため、引き続き防災訓練や防災学習を通して災害に強いまちづくりに取り組んでいきますので、地域での防災への取り組みにご参加よろしくお願ひします。

## 熊本地震被災地研修

11月19日（日）から20日（月）まで、各区自主防災会長5名・梶原消防団幹部10名で昨年4月に発生した熊本地震の被災地である熊本県西原村へ行き、西原村消防団や自主防災組織の活動状況について研修を行いました。

地震発生直後は、倒壊家屋からの人命救助や住民の避難誘導、安否確認、村の災害対策本部へ情報伝達を消防団と自主防災組織が協力して実施し、本震発生後の明け方には安否不明者ゼロを確認出来たそうです。これは、「日ごろから地域コミュニティ

ティがしっかりしていたことが大きかった。また、西原村では、村と消防団の共催により、地域住民の防災意識向上と地域の災害時連携の確立を目的に2年に1度『発災対応型防災訓練』を地域ごとに実施していたことが今回の迅速な対応に繋がっていました。」と西原村消防団の方が話されていました。

自主防災組織と消防団が連携し、実践的な防災訓練を実施し「共助力」の向上を図っていききたいと思ひます。大きな地震の揺れ対策のために、木造住宅の耐震診断や家具の固定といった平時から自分で備えることができる対策についても早めに対応をお願ひします。



西原村役場から山腹崩壊の場所が確認できる

# 平成29年度高知県「いい歯」の表彰おめでとう

11月12日(日) 高知県歯科医師会館2階会議室において、平成29年度高知県「いい歯」の表彰式が行われました。

本町からは、「熟年の部」で3名の方が高知県知事賞を受賞されました。

このことは、80歳で20本以上のご自分の歯を保とうという「8020運動」にちなみ、80歳以上の方を募集したところ135名の応募があり、その中から選ばれた特に良い歯をお持ちの方々で高知県知事賞5名の中で次の3名の方が本町という輝かしい結果となりました。受賞されました方は、

### ①高知県知事賞

- 上田 秀雄さん (川西路)
- 中越 甫さん (井の谷)
- 片岡 英男さん (北町)

その他の受賞の方は、

### ②(財)8020推進財団理事長表彰

- 明神 善行さん (大蔵谷)

### ③優良賞

- 西村 定寿さん (上成)

ここで、知事賞を受賞されました2名の方のコメントを掲載します。

### 上田秀雄さん

この度の知事賞の知らせには、大変驚いています。子どもの頃から歯並びの悪い事に対して劣等感を持っていたからです。

しかし、幸いにして、父の良い所をもらい歯の痛みも知らず、飴玉をカリカリと、硬い物程美味しく食べられます。その上、地元で素晴らしい歯医者さんに恵まれ、定期検診も受ける事ができるからこそです。

何でも思い切り噛みしめて食べられる事の大切さを実感している所です。

### 中越 甫さん

この度は高知県いい歯の表彰で知事賞に選出されたことに大変恐縮に存じております。

これも偏に袴原歯科診療所の橋先生をはじめ職員の皆さんより推薦をいただき感謝申し上げます。通常は3カ月に1回程度歯科診療所で歯垢をとって貰っています。家でも1日2回の歯磨きを行って

います。ある時、奥歯が少しぐらつくくと先生に申し上げたところ、先生は徹底的に治療をしてくださいました。家でも真剣に磨いていたところ、じつと動かなくなってきました。今では、何をかんでも痛みもなく元の歯に治りました。これから先残る人生を自分の歯と共に生きられたら良いなと思います。

(二部抜粋)

受賞されました方のように、生涯にわたりおいしく自分の歯で物を食べることは、元気な身体づくりに繋がります。「身体の健康はお口から」一生自分の歯で快適に過ごすために歯は大切です。

むし歯や、歯周病のない健康生活を送るためにもご家庭での歯みがきや食生活が重要になってきます。また、歯科での定期健診や上手な指導を受けて自分の健康を守るようにしてください。

保健福祉支援センターでは、いつでも相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。

### 【問合せ】

保健福祉支援センター健康増進係

☎ 65-11170



尾崎知事より表彰をうける上田秀雄さん





# 「日本道路の森」 間伐体験交流会開催

10月21日(土)、仲間集落において第8回「日本道路の森」間伐体験交流会が開催されました。この事業は、高知県の「環境先進企業との協働の森づくり事業」を通じて、梶原町とパートナーズ協定を締結いただいている日本道路株式会社の皆様との交流を深めることを目的に開催されています。今回も、日本道路株式会社の新社員の研修の一環として開催され、東京から10人のフレッシュな顔ぶれを含む28人の皆様にお越しいただきました。

また、高知県から林業環境政策課企画担当チーフ大野孝元氏も参加いただきました。当日は、台風21号の影響により大雨に見舞われ、森林内での間伐作業は残念ながら中止となり、ヒノキやスギの丸太切り体験を行いました。

参加者の皆様は、慣れないノコギリでの丸太切りに悪戦苦闘しながらも丸太を切り終え、満足な様子でした。

日常ではすることのない体験を通じて木を切るこの大変さを体感していただいたと思います。

昼食は、仲間集落の集会所で集落の方と地元の料理を囲んで交流会を行いました。地域の皆様の心温まるおもてなしに会話も

はずみ、大いに交流が深まったことと思います。

町では、引き続き協働の森づくり事業の取り組みを進めていきたいと考えておりますので町民の皆様ご協力をご協力をお願いいたします。  
(産業振興課林政係)



雨の中で記念撮影



丸太切りに挑戦

## 新採・職員紹介

平成29年度11月より梶原町に採用された方々を紹介します。自己PRを兼ねて、いくつかの質問に答えていただきました。

おくざき まり  
**奥崎 麻理**



出身地／梶原町田野々  
職名／生涯学習課 図書館司書  
趣味／映画鑑賞・美術館巡り・旅行  
今後の夢や抱負／  
子どもからお年寄りまでが集う賑やかな図書館づくりと、梶原町の歴史や文化の資料収集に努めていきます。皆様に愛される司書として頑張りますので、よろしくお願いいたします。

このみ さおり  
**木稲 沙央里**



出身地／福岡県久留米市  
職名／生涯学習課 図書館司書  
趣味／読書・散歩  
今後の夢や抱負／  
雲の上の図書館が町に根付き、様々な繋がりを持てる憩いの場となるよう、町の皆様の声を聞かせていただきながら、邁進してまいります。

なかやま りな  
**中山 梨菜**



出身地／梶原町飯母  
職名／生涯学習課 図書館司書  
趣味／ピアノ・図書館巡り  
今後の夢や抱負／  
図書館に様々な年齢の方が集い、生きがい探しの場であったり、夢をみつけられるような場になるよう、自らも学び続けていきます。ご指導よろしくお願いたします。

# 冬の感染症から自分を守る インフルエンザとノロウイルス胃腸炎

寒い日が続きますが、皆さん体調は崩されていないでしょうか。冬には気温・湿度が低下し、私たちの体に影響を及ぼすだけでなく、空気中のウイルスにとって活動しやすい環境になります。

インフルエンザや食中毒・感染性胃腸炎の原因になるノロウイルスは冬に流行します。どちらのウイルスも感染力が非常に高く、室内で過ごすことも多くなるため、集団感染が起こりやすい環境になります。

感染しても3分の1から2分の1の人には症状がなく、また、症状があっても軽いため医療機関を受診しない人もいますので、実際の感染者数はさらに多いと考えられ、自分自身を守るために、予防行動をとることが重要になります。

## インフルエンザ

### ■感染ルートは2つ

#### ①飛沫感染

感染者のくしゃみや咳、つばなどで放出されたウイルスを口や鼻から吸い込み感染する。

#### ②接触感染

感染者の手についたウイルスがドアノブなどを介して他者に移り、その手で目や口を触り、感染する。

### ■予防のポイントは3つ

#### ①感染経路を断つ

帰宅時や調理の前後、食事前などこまめな手洗いを心掛けましょう。アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。

#### ②予防接種を受ける

発症する可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。

#### ③免疫力を高める

免疫力が弱くなっていると、ウイルスに感染しやすく、また重症化しやすいため、普段から十分な睡眠とバランスのよい食事を心掛けましょう。

## ノロウイルス胃腸炎

### ■感染経路

#### ①人からの感染

感染者の便や吐物から人の手などを介して二次感染する。

#### ②食品からの感染

感染した人が調理などをして汚染された食品を食べた場合。また、ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝などを食べた場合。

### ■症状

約24〜48時間で吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱などが現れます。症状が軽い場合は風邪のような症状が出ます。2〜3日で回復していきますが、1〜2週間から1ヶ月の間、便の中にウイルスが排出されているため、他者に移さないよう注意が必要です。

### ■予防策

#### ①手洗いをしっかり行う

帰宅時や食事前、トイレの後に流水と石鹸による手洗いをしましょう。アルコール消毒は、手洗いの代用にはなりません。すぐに手洗いができない場合の一般的な感染症対策として行ってください。手洗いではウイルスを洗い流すことを意識しましょう。

#### ②食品はしっかりと加熱

貝類（主に牡蠣、シジミ、アサリなどの二枚貝）はしっかりと加熱した状態であれば感染しないため、中心部まで十分加熱調理しましょう。

#### ③キッチンや調理器具の消毒

調理台や非金属性の調理器具などは十分に洗浄した後、液体塩素系漂白剤を水5リットルに対してキャップ一杯で薄め、浸すように拭き取ります。また、ドアノブなど手で触れる場所も消毒すると効果的です。

### ■正しい汚物の処理方法

感染者の便や吐物を間違った方法で処理すると、二次感染をおこす恐れがあるため正しい方法で処理を行いまししょう。

①部屋を十分に換気し、使い捨ての手袋・マスクを付け、タオルやペーパータオルで吐物を除去する。

②液体塩素系漂白剤を水1リットルに対してキャップ一杯で薄め消毒する。

③おむつや拭き取りに使用したタオルやペーパータオルはビニール袋に密閉し、漏れないようにして廃棄する。

以上のことをふまえ、自分の健康を守りながら、冬を過ごしましょう。



# 在宅生活おうえん事業補助金について

お家で過ごす高齢者や障害児(者)の生活を応援し、要介護状態への進行防止や自立生活の継続助長を図ることを目的として、補助を行っています。

### ▼対象者

町内在住の65歳以上の高齢者及び障害児(者)。ただし、要介護・要支援認定を受けている方については、介護保険サービスの住宅改修及び福祉用具購入を優先し、障害児(者)については、障害福祉サービスが優先されます。

### ▼補助内容

①と②の両方を利用可能。いずれも対象者一人につき、生涯に渡って、限度額まで補助金を交付します。

※1回の交付で限度額まで補助金を使い切らなかった場合は、2回目以降も残額を限度に交付申請が可能です。

※申請には、工事前・後の写真や、材料代等や購入用具の領収書が必要です。

### ①福祉用具：90%助成

≪ 限度額27,000円

#### ◇福祉用具の例

- ・ポータブルトイレ
- ・浴槽手すり
- ・入浴用イス
- ・ベッド手すり
- ・歩行器 など



### ②住宅改修：材料費の90%を助成

≪ 限度額63,000円

※材料費のみが補助対象です。で、工賃等は含みません。

#### ◇住宅改修の例

- ・手すりの取付け
- ・段差解消 など



### 【申請・問合せ】

申請の希望をされる方は、住宅改修の工事内容や福祉用具の種類によっては補助対象外となる事があるため、工事及び購入前に保健福祉支援センター福祉係までご相談ください。

保健福祉支援センター

福祉係 ☎ 65-11170

## 愛称は「雲の上の図書館」 「YURURIゆすはら」に決定!!

現在、旧梶原小学校跡地に建設中の「ゆすはら森の中の丸ごと図書館」・「ゆすはら複合福祉施設」の愛称について募集しましたところ、町民の皆様をはじめ、町内の学校企業等へ在学在勤の皆様から150点を超える作品のご応募をいただきました。ご応募いただいた皆様、ありがとうございます。

愛称選定委員会において選定しました結果、図書館は「雲の上の図書館」、福祉施設は「YURURIゆすはら」が最優秀賞に決定しました。今後は、これらの愛称とともに皆様に親しまれる施設を目指してまいります。

なお、最優秀賞に輝かれた方は左記のとおりです。

### 最優秀賞

「雲の上の図書館」(該当者2名)

松田 杏実さん(上西の川)

吉富 文さん(太郎川)

### 最優秀賞

「YURURIゆすはら」

山本 加奈さん(津野町芳生野)

# 小児のいびきと睡眠時無呼吸

いびきは専門的には気道狭窄音といひ、鼻から気管に狭いところがあると生じます。鼻の病気では鼻炎、アレルギー性鼻炎などがいびきの原因になります。しかし、小さなお子さんは鼻つまりを訴えませんので、鼻水が垂れてきたのを見て病気に気付かれることが多いと思われます。また、2、3歳のころから腫れるアデノイドや扁桃腺も原因になります。アデノイドは鼻の奥に、扁桃腺は口を開けた時にのどの奥の両側にあります。

そして、これらは睡眠時の無呼吸の原因にもなります。

小児睡眠時無呼吸症とは、睡眠中に呼吸が止まり、十分な酸素が取り入れられない病気です。十分な睡眠がとれず、朝起きられない、日中集中できないことがあります。さらに、十分な睡眠がとれないと背が低く、痩せたお子さんになる可能性もあります。睡眠中に分泌される成長ホルモンが不足するたためと考えられています。実際、治療によって背丈の伸びが改善する



例を経験します。最近、7歳以降では、治療による身長急激な改善が得にくいとした報告がありますので、就学前に治療をした方が治療効果は高いといえます。その他、海外の報告では、落ち着きのなさ、知能指数の低下、脳障害、突然死などとの関連も報告されています。但し、外国の方は日本人と頭の形から異なり、肥満の割合が多いといわれています。故に、海外の報告をそのまま日本人に当てはめて良いとはいえません。

診断は計測機器を体に取り付けて寝ることにより行います。しかし、検査結果が正常でも、辛そうだからと治療をしますと、良くなるお子さんがいます。子供は自らのいびきでも目を覚ますと言われており、診断には保護者の方の観察と判断によるところが大きいと感じています。

治療では、鼻の病気があれば、それをしっかり治療することで無呼吸症が治ることがあります。また、アデノイドの腫れに対して、2歳以降であれば点鼻薬を用います。手術については、扁桃腺とア

デノイドの腫れについて薬で改善しなければ勧められています。手術の効果は高く、寝ている状態を安心して見ていられるようになったという話をよく伺います。さらに、背が急に伸び始めたお子さん、朝起きられるようになったお子さん、落ち着きが出てきたお子さんもおられます。

お子さんの健やかな成長のために良質な睡眠が不可欠です。いびきをお子さんからの重要なサインの一つととらえていただきたいと思います。



氏名 / 小森 正博

所属 / 高知大学医学部附属病院

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

役職 / 講師



# 梶原こども園だより

## 防火パレード

11月9日(金)に行われた防火パレードに幼児組が参加しました。かっこいい法被を身に着け、お家の人に作ってもらった拍子木や音の出るペットボトルを手に持ち、少し緊張ぎみの子どもたちでした。消防車に先導してもらい「火の用心」と音楽に合わせて歌ったり、拍子木を打ち鳴らしたりしながら、消防団の方々と一緒に町内を歩きました。沿道にはお家の方や地域の方々がたくさん見に来てくださり、見守ってもらったり応援



歌いながら歩いたよ

してもらいました。ありがとうございます。年長の子どもたちがそれぞれ色を塗った『火の用心』の札も歩きながら配らせてもらいました。役場では何台もの消防車が並んでいて大喜びの子どもたちが乾燥していきますので、火の取り扱いや後始末には十分注意していききたいですね。



消防さんのお話を聞いたよ

## 高校生が 保育体験にきたよ

10月12日(木)と11月9日(木)に高校生17名が保育体験に来てもらいました。2回とも同じクラスに高校生に入ってもらいましたが、子どもたちもお兄ちゃん、お姉ちゃんと一緒に手をつないでもらい、散歩に出掛けたら、乳児組さんの中には鼻水が出ると、鼻水を拭いてもらったり、手を出すと自然と抱っこしてもらおう姿もあり、1回目より2回目は積極的に子どもたちと関わっていき嬉しく思いました。幼児組さんはチューリッ



お兄ちゃんと一緒にプランター運び

プの土作りを手伝ってもらいました。子どもたちと一緒にプランターに土を入れたり、プランターを運んでもらったりしました。高校生とは田植え、お茶摘み、合同避難訓練等での交流を通して園児と触れ合う機会も多いので、親しみをもって関わる事ができています。こども園の園児たちにとって優しいお兄ちゃん、お姉ちゃんであり、高校生にとっても小さい子へ愛情を持って関わることでいい経験となっているのではないかと思います。



お兄ちゃんやさしい

**高知県更生保護事業功労者顕彰式典**

11月15日(水)、三翠園において、高知県更生保護事業功労者顕彰式典が開催され、この度4名の保護司の方々が表彰されました。

**全国保護司連盟理事長表彰**

市川 吉朗氏(松谷)  
(平成12年より現在まで17年間)

**四国地方更生保護委員会委員長表彰**

志手 功氏(川西路)  
(平成19年より現在まで10年間)

**高知保護観察所長表彰**

片岡 幸作氏(田野々)  
氏原 昇佐氏(影野地)  
(平成24年より現在まで5年間)

地域住民の犯罪や非行防止のため研修や活動に熱心に取り組み、過ちを犯した人々の立ち直り支援や相談対応など、地域における更生保護活動のご功績が評価されたものです。

**相続登記相談のお知らせ**

高知県司法書士会では、2月を「相続登記はお済みですか」月間と定め、相続登記、法定相続情報証明制度の他、遺産分割、遺言等、

相続に関する様々なご相談に司法書士がお答えする無料相談会を開催します。

榑原町近隣の会場は、左記のとおりです。予約不要ですので、ぜひお気軽にご利用ください。

**日時**

平成30年2月3日(土)

10時～15時

**場所**

須崎市立市民文化会館

(須崎市新町2-7-15)

**【問合せ】**

高知県司法書士会

総合相談センター

☎088-825-3143

**林業就業支援講習の受講者募集**

林業への就業を希望する方に、林業に関する座学や実習等を行います。また、チェーンソー・刈り払い機、小型車両系(整地等)建設機械の資格取得もできます。

**期間**

平成30年1月16日(火)～

2月3日(土)

(土日を除く15日間、但し2月3日(土)は実施します)

**場所**

香美市土佐山田町大平80

森林研修センター 他

**その他**

受講料は無料

(講習修了者に対し、受講中の宿泊費補助あり)

**申込締切**

平成29年12月27日(水)

**【問合せ・申込み】**

(公財)高知県山村林業振興基金

高知県林業労働力確保

支援センター

☎0887-57-0366

**高知県社会福祉大会**

11月22日(水)、高知県立ふくし交流プラザにおいて、第68回高知県社会福祉大会が開催されました。

この大会では毎年社会福祉に貢献のあった方々を表彰しており、今年度は渡辺瑞枝氏(茶や谷)、高橋勝也氏(文丸)が大会会長感謝状を贈呈されました。

渡辺瑞枝氏は、平成19年12月から主任児童委員として、平成25年12月から現在までは民生児童委員として、通算9年間委員の職を務められております。温厚な人柄で活発に地域福祉活動に取り組んでこられたご功績が評価されたものです。

高橋勝也氏は、平成19年12月か

ら現在まで9年間民生児童委員を務められており、榑原町民生児童委員協議会副会長も務められています。地域住民からの信頼も厚く熱心に委員活動に取り組んでこられたご功績が評価されたものです。



**須崎税務署からのお知らせ**

**確定申告電話相談センターの開設について**

電話での所得税及び復興特別所得税・贈与税・消費税及び地方消費税の確定申告に関するご質問やご相談にお答えします!

**期間**

1月18日(木)～3月15日(木)

※土・日・祝日は2月18日(日)及び2月25日(日)のみ



●おくやみ

住所	氏名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
横 貝	川上百合美	女	H29.11.8	93	川上泰顯
宮野々	古井 操	女	H29.11.16	96	本 人
後別当	中越 栞	男	H29.11.22	97	本 人

●ご結婚

届出時の住所	夫婦氏名	婚姻日
大蔵谷 大蔵谷	夫 竹本 大 恭 妻 中 越 未 里	H29.11.3

※出生・死亡・婚姻については個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています。

受付時間

午前8時30分～午後5時

ご注意

所轄の税務署にお電話いただき、自動音声案内に従い、『0』を選択してください。

※確定申告以外の国税に関する一般的なご相談を希望される方は、所轄の税務署にお電話いただき、自動音声案内に従い、『1』を選択してください。「電話相談センター」へおつなぎします。

寄付のお礼

このほど、次の方からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

ふるさとづくり寄付金として

- 伊藤 富雄様 (名古屋市)
- 皆川 律子様 (会津若松市)
- 中平 忠雄様 (品川区)
- 平澤 礼治様 (新宿区)
- 二瓶 豊様 (豊島区)
- 山本 隆昭様 (札幌市)
- 黒川 秀亮様 (静岡県袋井市)

広報へのご寄付

- 西村 美子様 (中町)
- 間宮三喜男様 (藤沢市)

その他のご寄付

- 矢野 敬明様 (上折渡)  
故・矢野静道氏逝去に伴う香典返しとして社会福祉へ
- 上田 和弘様 (川西路)  
故・上田光子氏逝去に伴う香典返しとして社会福祉へ

1月の行事予定

- |  |   |
|--|---|
| 3日(水) 成人式<br>体育始め                      | 13日(土) 環境デイ   |
| 9日(火) 栲原学園3学期始業式<br>栲原高校3学期始業式<br>小児健診 | 16日(火) 栲原高校修学旅行(20日まで)<br>17日(水) 行政相談<br>20日(土) 栲原町交通安全の日<br>27日(土) 栲原学園人権教育参観日 |

1月の保健福祉支援センター行事予定

- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 5日(金) 初瀬いきいき           | 15日(月) げらげら家族会 |
| 9日(火) 小児健診             | 19日(金) 東区いきいき  |
| 10日(水) 松原サテライト         | 25日(木) 四万川いきいき |
| 11日(木) 越知面デイ友の会/四万川宅老所 |                |

- 毎週水曜日…予防接種 (四種混合、麻疹・風疹、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)
- 毎週水曜日…育児サークル (支援センター4F 講義室) 10時～12時  
※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お母さんだけでもOK。是非参加してください。お待ちしております。
- 月曜日～金曜日…子育て世代包括支援センター (支援センター1階)  
※育児や子育てなど、相談がありましたら気軽においでください。(TELでも構いません。☎65-1170までお願いします)
- 川畑 真理子 心理カウンセラー相談日…23日(火)、24日(水)  
※相談希望の方は、健康増進係または子育て世代包括支援センター (☎65-1170) までお願いします。
- ゆすっ子相談センター相談日…16日(火)午後、23日(火)終日、30日(火)午後





# 文 芸

## 柚子の木俳句会

石路の花父祖の地離る日の近し

広瀬 みえ

熱心に零余子をさがす友二人

西村由利子

北風にスワンボートは木の葉なり

西森 誠子

髪飾りユラユラと七・五・三

中越 郁子

新米のむすびに目と目頷いて

中平 忠雄

急流の川の上よどみに落葉積む

中越 緑

郁子の坂隼すこし伸ばしおり

渡辺 瑞枝

「銀の夢」積まれ仕込まれ新酒待つ

中越 秋子

合の手に杵を操り出す紅葉かな

吉田 敬子

同期会西や東の新酒酌む

広瀬 卓雄

## えぼし俳句会

ああけふも無事でなにより柚子湯沸く

千光寺昭子

風さわぐ落葉の前の山乾く

岩元 芙美

吹き抜きの駅舎のチラシ冬めける

古野 節子

一輪に色のあつまる返り花

下元 澄子

人生に定年あらず返り花

ヒネ・バンビ

園児らの残る窓の灯暮はやし

宮崎真由子

食パンのぼろぼろこぼれ今朝の冬

宇都宮由利子

大振りの秋茄子ゴロリ絵手紙来

中越 律子

冬麗気ままに生きていし野犬

瀬戸口登貴恵

湯気の立つ振舞うどん冬めける

西村 智子

刈田には虫愛ずる神御座候ふ

石丸 吉一

没日をとどめていたる石路の花

岩井 章子

## 杉の子俳句会

うたた寝の夢の家族や掘炬燵

大崎みなと

木枯や鮎の背開き一夜干し

西村 幸枝

立冬や駄屋の親子の牛温し

西村 蓉子

仰向けにされて触診木枯吹く

掛橋 初子

蜜胴を下ろす崖上梯子掛

影浦 鉄心

木枯や荷物減らせと耳打ちす

川田 早苗

木枯らしや歩みし道をふり返り

氏原 陽子

凧の吹く八志士のわら草履

明神伊佐子

冬の夜や独り寝もよし二人寝も

久岡 智子

木枯らしや農村歌舞伎の幟立つ

下元 廣幸

凧に向つて笑う仁王像

内野 純子

## 学校応援団俳句教室

こたつごとこそごそうごくこたつむり

二年 坂本こうこ

しもばしらシャキシャキふんでつぶしたよ

二年 西村 日汰

こたつはねまだまだ出さない糸井家は

二年 糸井 華子

おちばけり風にとばされふくにつく

二年 佐竹 健人

さむいあさストーブをつけきがえたよ

一年 大谷 成穂

学校にくるときかおがさむいなあ

一年 上田 心結

マフラーをむらさきけいとであみました

一年 武正 彩咲

## 川 柳

金満家逝きて大金羽根が生え

国寶と欲待し人武器商人

英米を鬼畜と呼んだ過去もある

ゆす原人々

## 狂 歌

どなた様誰がなろうとこの歳は

若くはならぬ行く気も萎える

やつとこさ痛い足をば引きずつて

行ったけれども白紙で入れた

ゆす原人々



中平の田辺良一さん宅のイルミネーション  
15年ほど前から毎年行っているそうです。

# 梶原学園 だより VOL.66

## 「不可能を可能に変える力」

### 鈴木琢也氏講演会

11月7日(火)、株式会社グロージャスの鈴木琢也氏に講演していただきました。演題は、「不可能を可能に変えるチカラ」。鈴木さんは中学校時代、俗にヤンキーと呼ばれる不良少年で、警察にお世話になったことも数知れず、相当荒れた生活を送っていたそうです。もちろん勉強をするわけもなく、学力もクラスの底辺に位置していたと話されていました。

しかし、24歳の時、大きな心の変容が起こります。父親の会社での表彰式に家族で参加した時、これまで、「家庭を顧みない仕事人間」と蔑んでいた父親が、大変輝いて見えたそうです。たった一枚表彰状を大事そうに胸に抱え、多くの参加者から拍手を送られる父親の姿に感動を覚えたそうです。そこから、一念発起し、世界の大学ランキングのトップ10に入る世界的に有名なカリフォルニア大学バークレー校入学を目指し、見事入学・卒業を果たしたということでした。子どもたちは、鈴木さん

の変遷ぶりに興味をもってじっと耳を傾けていました。これから、いろいろな体験や経験をする子どもたちに大きな示唆を与えてくれた講演でした。鈴木先生の講演内容をまとめてみました。

- 夢に期限を設ける
- 運が作用される領域までの努力が必要
- 変化を恐れない行動力
- 継続的に学ぶモチベーション (意志の強さ)
- 未来は予想するものではなく創るもの



鈴木琢也氏の講演の様子

## 熱唱 ウェルカムコンサート

11月4日(土) 毎年恒例のウェルカムコンサートを行いました。午前中は、人権作文発表、海外研修発表、総合学習発表(箏演奏、茶道、津野山神楽)を行いました。それぞれの発表の中に学習の成果を感じ取ることができ、個人の成長も見えて大変うれしく思いました。

午後は合唱コンクール、交流合唱(5・6年、5・9年)、教職員合唱、音楽部の演奏がありました。

合唱コンクールでは、7年生、8年生が「下克上」を合言葉に9年生に挑みましたが、9年生全員の力を結集した重厚で迫力のある合唱には及ばず、厚い壁に跳ね返されました。しかし、ハーモニーを効かせた合唱は、素晴らしかったです。来年がまた楽しみになりました。合唱コンクール最優秀賞は9年、優秀賞は7、8年、指揮者賞は9年の戸梶拓海君。見応えのある合唱コンクールになりました。



合唱コンクール最優秀賞の9年生



御神楽の実演